

つながり、

共に創るまち

こだいら



小平市第四次
長期総合計画

概要版

小平市

小平市第四次長期総合計画について

小平市第四次長期総合計画とは

小平市自治基本条例に基づき、小平市が目指す12年後のまちの姿(将来像)を定めた計画です。将来にわたって持続可能な社会を構築し、より魅力あるまちをつくるため、何を大切に、どんなことに取り組んでいくのかを示しています。行政だけでなく、市民、事業者、小平市に関わる人々が、**みんなで実現していきます。**



これからのまちづくりにおける変化や課題

人口減少、人口構成の変化

近い将来、人口減少がはじまり、少子高齢化が進行

経済財政状況の変化

市税の減少や、社会保障関係費の増加

地球規模の危機への対応

巨大地震や気候変動による被害、感染症対策の必要性

公共施設の老朽化に伴う更新ピーク到来

多くの公共施設が老朽化し、更新時期のピークが到来

暮らしや働き方を変える Society5.0時代の到来

最新テクノロジーを活用した未来社会の到来



様々な社会情勢の大きな変化が予想される中、長期総合計画は進む方向性を示す羅針盤となります。

第四次長期総合計画のポイント

ポイント
1

市制施行100周年である 2062年を見据え、将来の世代にこだいらのまちづくりをひきつぐために、2021~2032年度の12年間にやることは何かを共有する計画です。

ポイント
2

市民、事業者、行政、関係人口や交流人口など、関係する全ての方々が、それぞれに持つ資源を結集し、役割分担をしながら地域を共に創っていくための計画です。

長期的な視点を持って、そこから逆算して考えているんだ。

現在
2021年

12年後の目標
2032年

市制施行100周年
2062年



小平市がめざす12年後の将来像 つながり、共に創るまち こだいら

将来像を実現するための3つの基本目標

I ひとづくり ……人が育ち、学び、新たな価値を創造するまち

II 暮らしづくり ……多様性を認めあい、つながり、共生するまち

III まちづくり ……自然と調和した、美しく快適で、魅力あるまち

12年後はこんな小平市でありたいな

安心して子育てが
できるまちだよ

災害に強い
まちづくりを
すすめているよ

地域のお店を中心に、
交流の輪が
できているよ

水や緑や農地、
いきものを身近に
感じながら
暮らしているよ

暮らしながら
働けるまちに
なっているよ

大切に育てられた
旬の農産物に
みんな笑顔だよ

違いを超えて
みんなが自分らしく
暮らしているよ



文化芸術が
まちの誇りとして
受け継がれて
いるよ

どんな人にも
居場所があるよ

子どもや若者が
夢や希望をもって
育っているよ

みんなが文化や
スポーツを通じて
つながっているよ

地域で声を
かけあったり、
助けあったり、
安心して暮らせる
まちだよ

色々な人で賑わう
魅力的なまちに
なっているよ